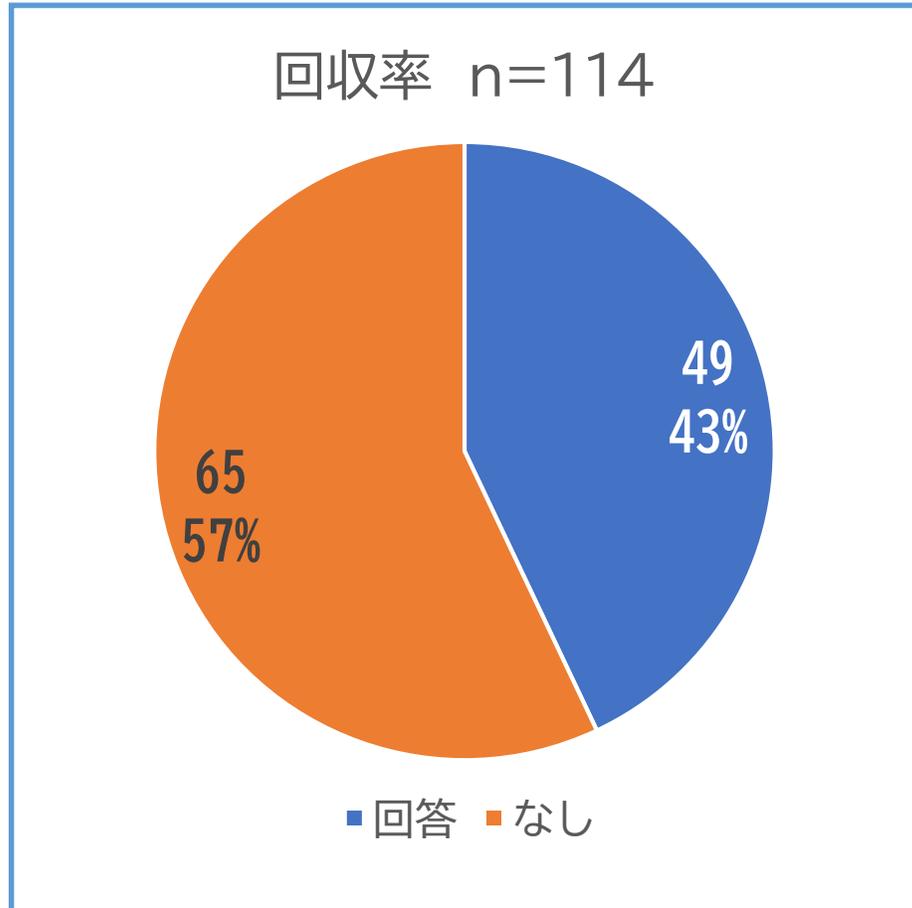


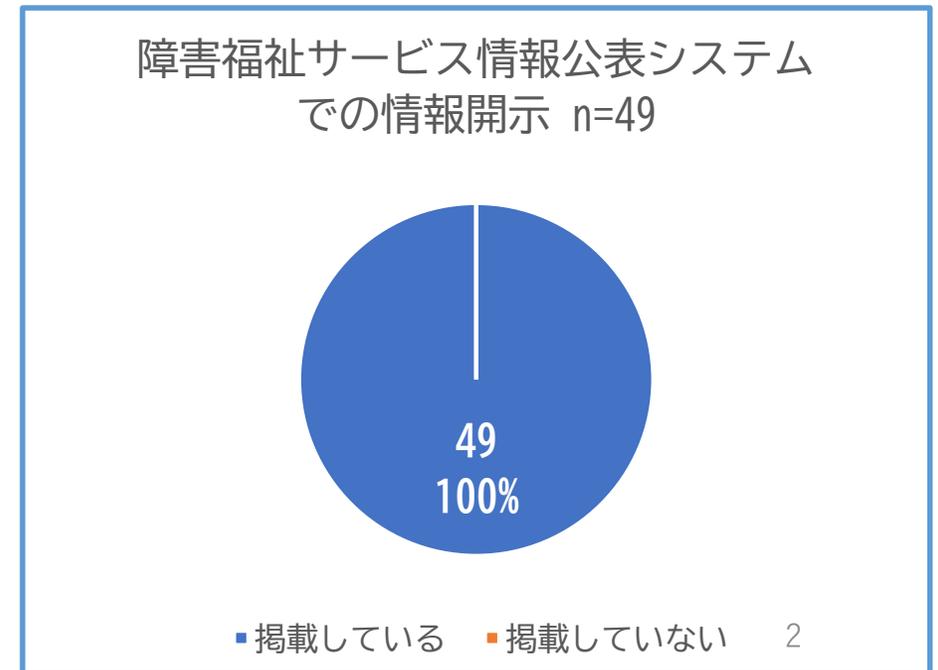
2024年度 会員アンケート結果

NPO法人 全国就労移行支援事業所連絡協議会

アンケートの概要



- 2024年9月3日に配布しGoogleフォームにて回収
- 2024年9月26日まで回収および修正
- 実施時会員事業所数：114カ所
- 回答事業所数：49カ所
- 回答率：43%



障害福祉サービス情報公表の改善点

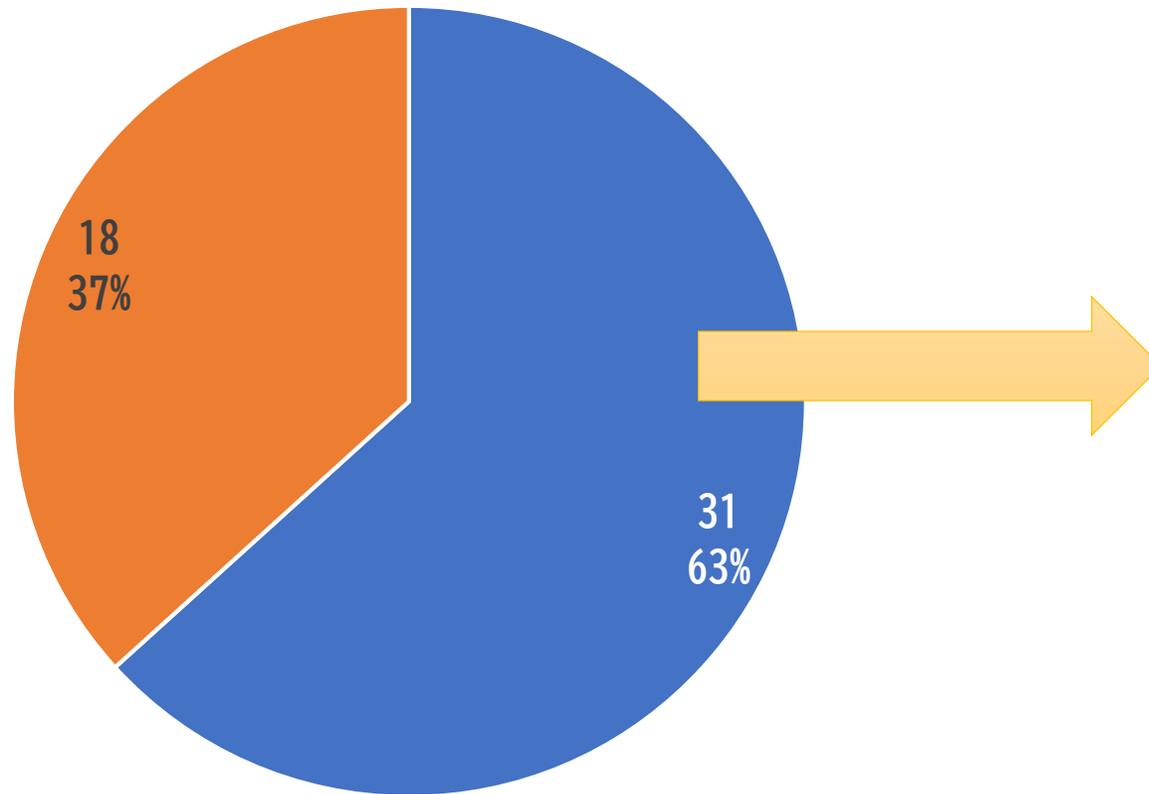
主な意見（自由記載） n=22

【主な意見】

- 特になし (5)
- 曖昧・不明な点がある (4)
 - 一般就労先での定着者数(定着率)の算出の仕方
 - 公表する範囲（項目）
 - 就職率・定着率などの計算の仕方
 - 就労実績等の記載方法
- 情報量が多すぎる (4)
- 操作方法がわかりづらい (3)
- 負担 (3)
- 必要性を感じない (2)
- 周知が必要
- 経営改善計画書に関する情報が必要
- 実績を公表していない事業所への指導を行って欲しい。登録されたデータが各事業所ごとにしか確認できない。エクセルの一覧データは必要な情報項目が入っていない。各事業所ごとの項目と同項目でエクセル一覧表を作成してほしい。
- アピールポイントも記載したい
- 入力したものをプリントアウトしておきたい

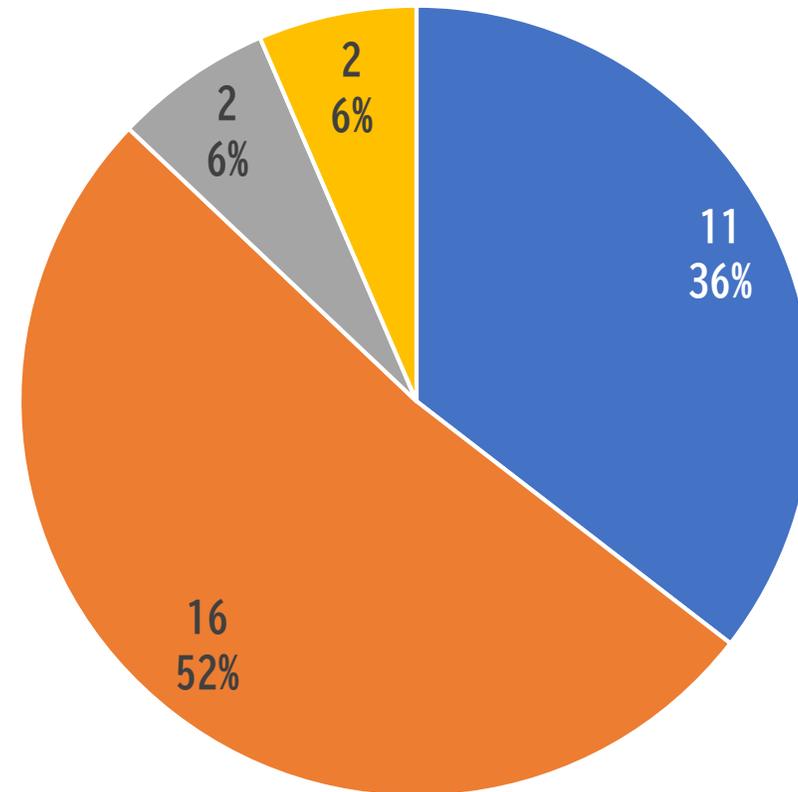
事業所の形態と規模

事業所の形態 n=49



■ 多機能型事業所 ■ 就労移行支援単独

多機能の総定員 n=31

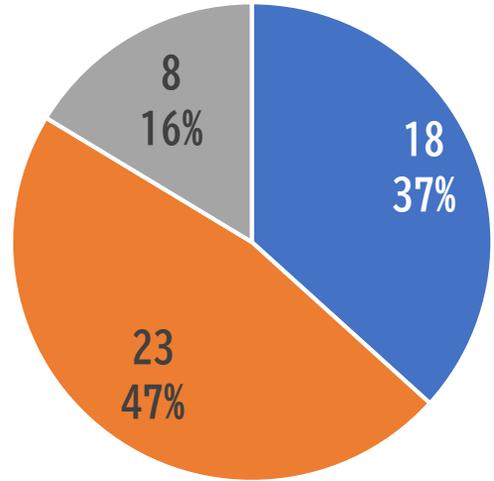


■ 20名 ■ 21名以上40名以下 ■ 41名以上60名以下 ■ 61名以上

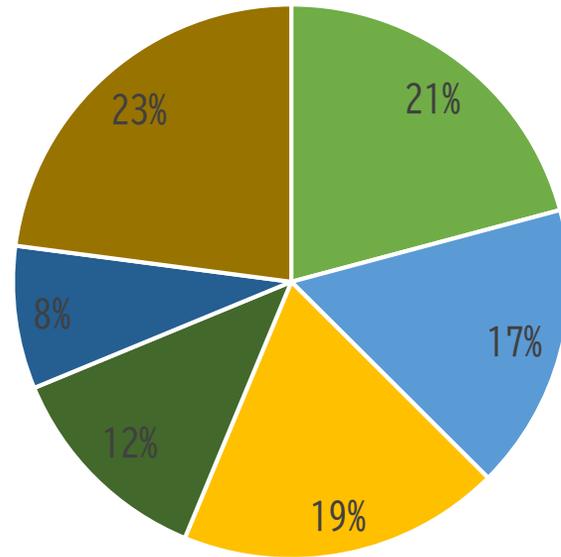
2023年度の平均利用者数と定員充足率（定員別）

就労移行の利用定員 n=49

定員充足率（平均利用者数／定員）

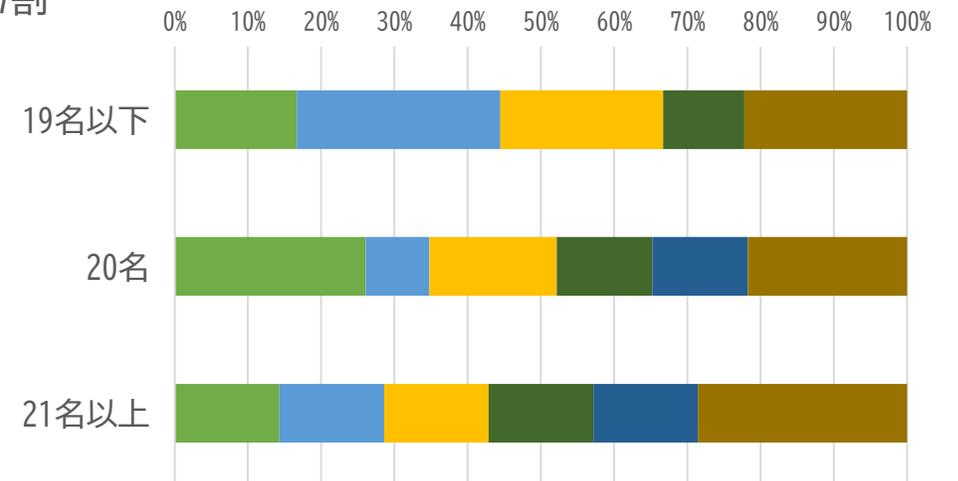


■ 19名以下 ■ 20名 ■ 21名以上



- 定員充足
- 9割から定員未満
- 8割から9割
- 7割から8割
- 6割から7割
- 6割未満

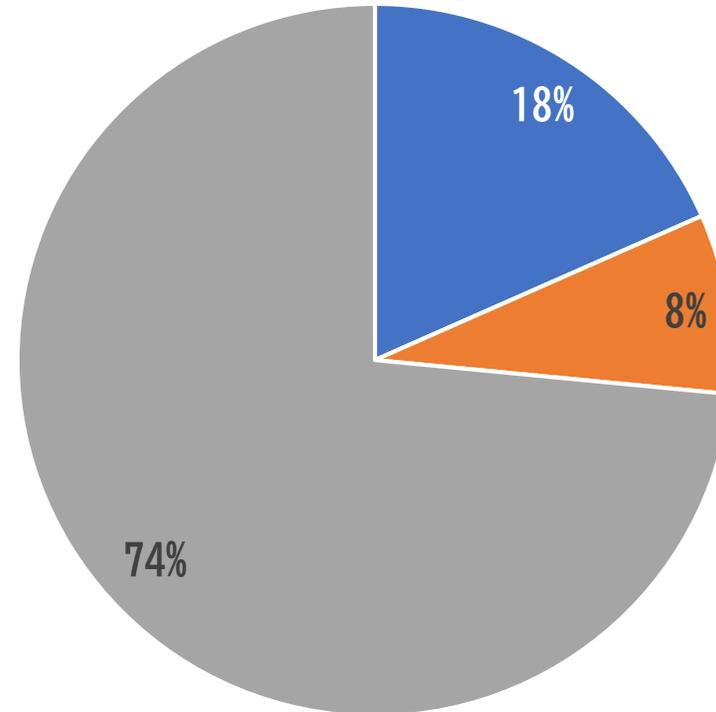
定員規模別の定員充足率



定員の縮小

NEW

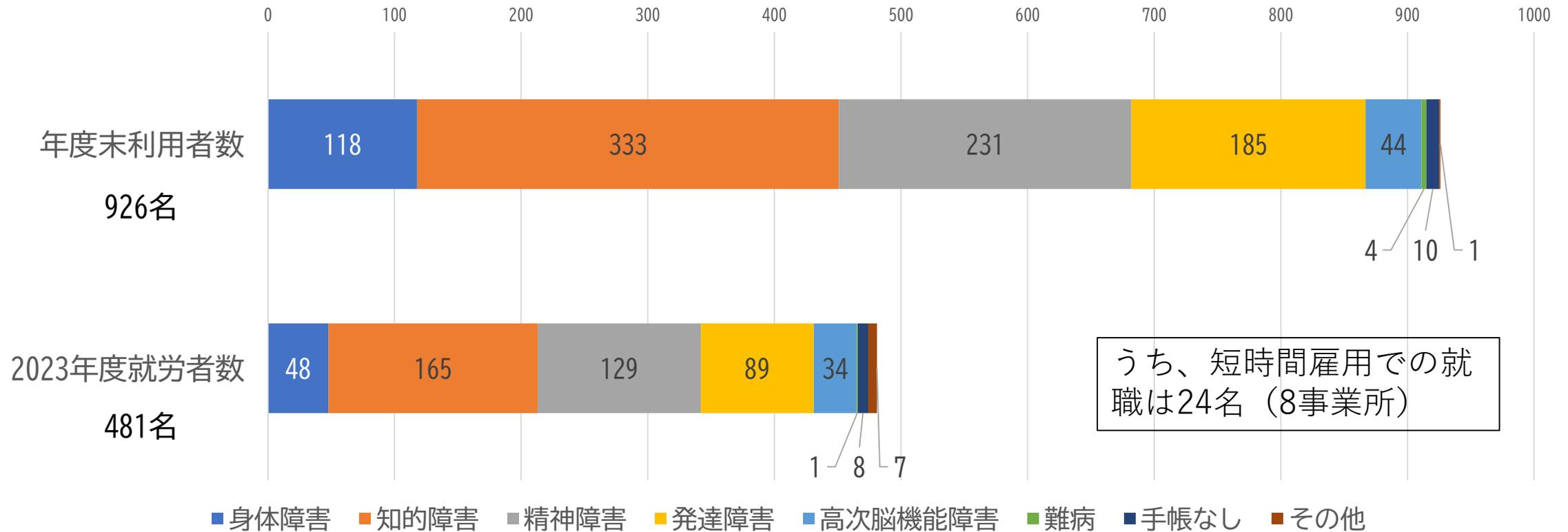
定員の縮小 n=49



- 既に20名以下に定員縮小をした
- 今後、定員20名以下に縮小することを検討している
- 検討していない

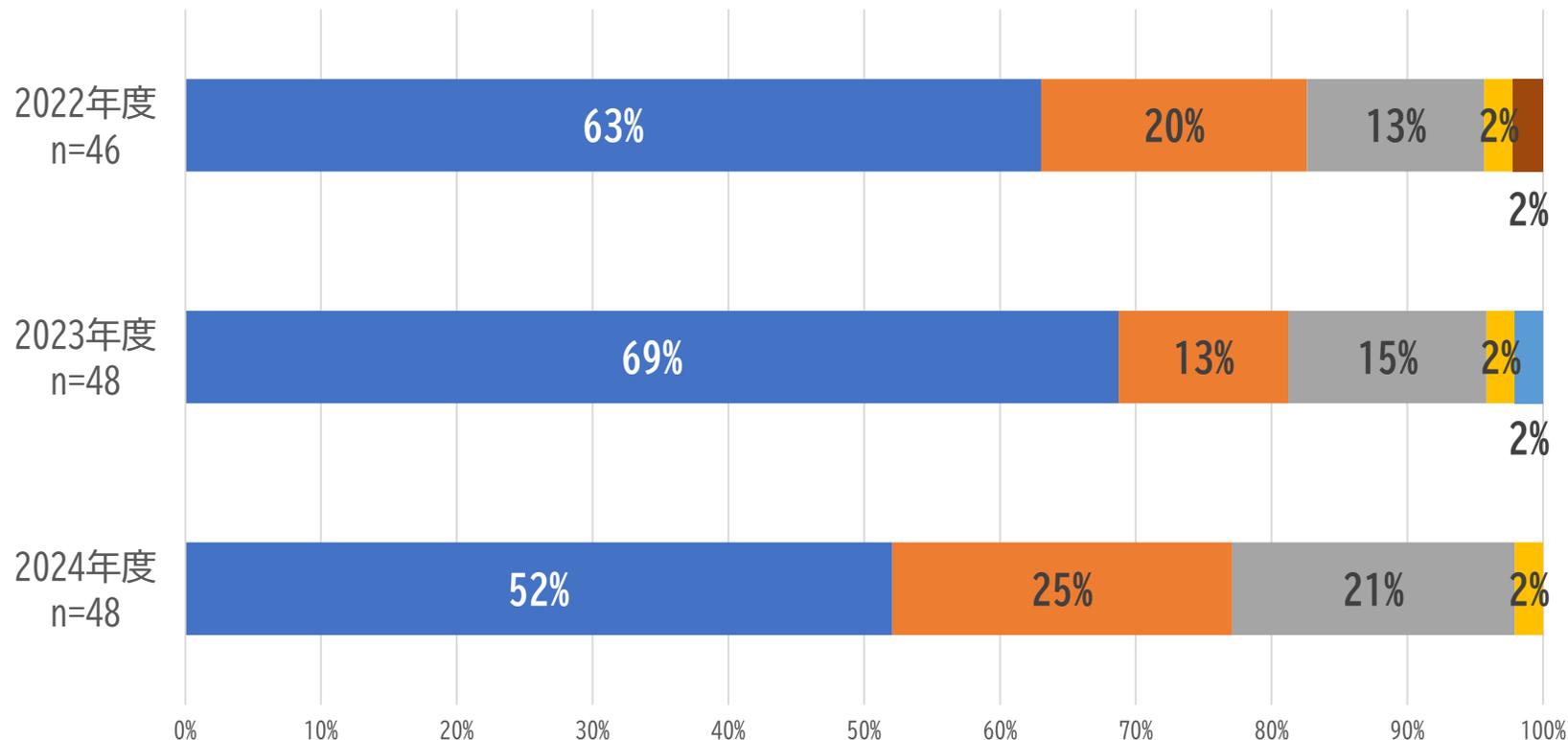
障害種別と就職件数

各事業所における利用者障害種別（年度末時点）及び障害別就労件数の集計



就労移行支援事業の基本報酬区分

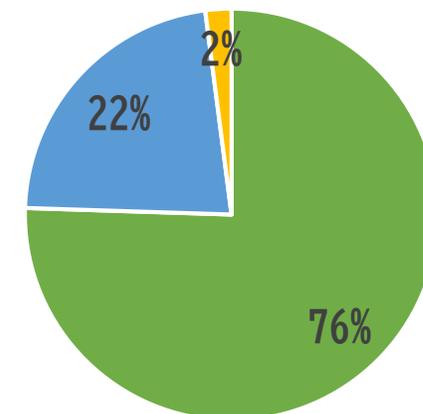
各年度における基本報酬区分の割合



- 定着率が5割以上
- 定着率が4割以上5割未満
- 定着率が3割以上4割未満
- 定着率が2割以上3割未満
- 定着率が1割以上2割未満
- 定着率が0割超1割未満
- 定着率が0
- 事業未実施など該当なし

コロナ特例適用の割合
2023年度算定時

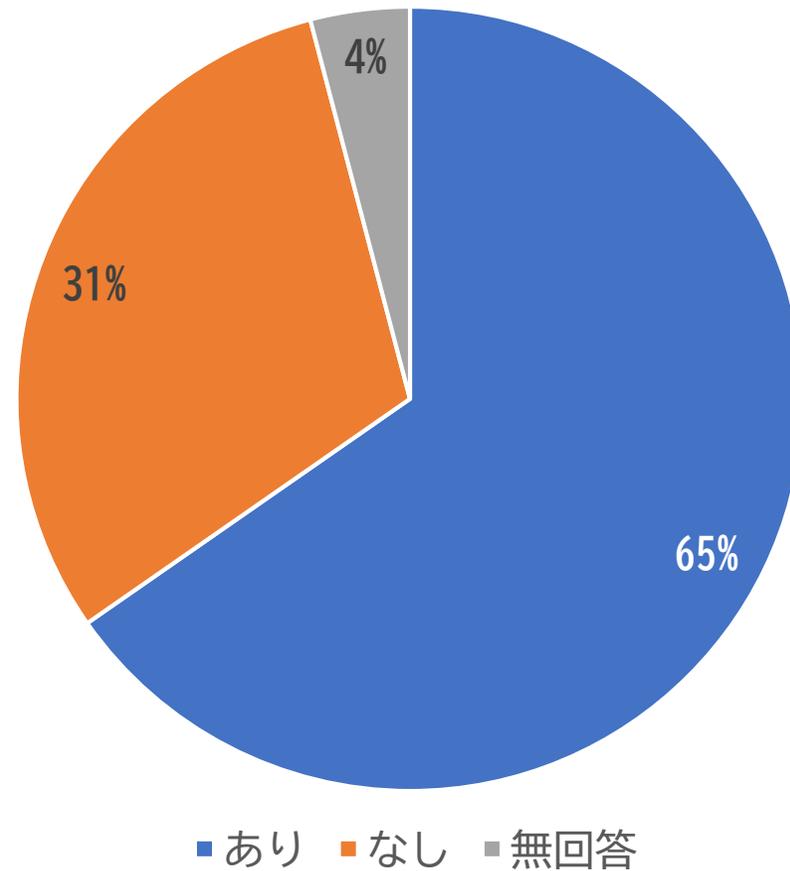
n=49



- コロナ特例なし
- コロナ特例利用
- 無回答

定着支援連携促進加算について

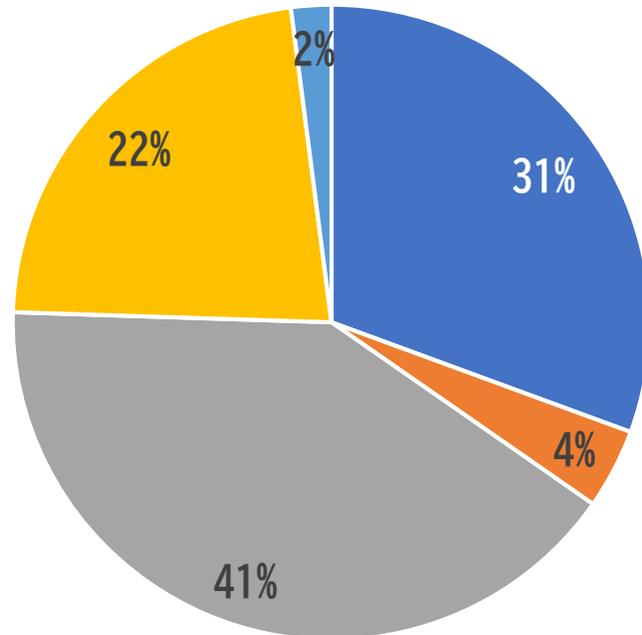
2023年度の定着支援連携促進加算の取得の有無 n=49



地域連携会議実施加算について

NEW

地域連携会議実施加算の取得状況 n=49



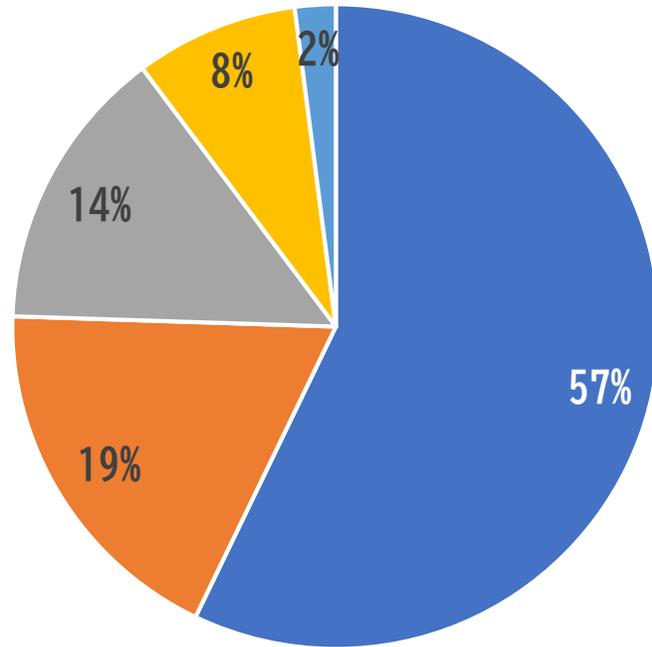
- 地域連携会議実施加算 I (サビ管必須) のみを取得している
- 地域連携会議実施加算 II (サビ管不在も可) のみを取得している
- 上記 (I と II) 両方を取得している
- 取得していない
- 無回答

《取得していない、または取得回数が少ない理由》
自由記載 (抜粋) n=14

- サビ管や関係機関の出席が課題 (7)
- 会議ができていない (4)
- よく知らない
- 事務負担
- 自法人実施事業所間でのやり取りが多いため

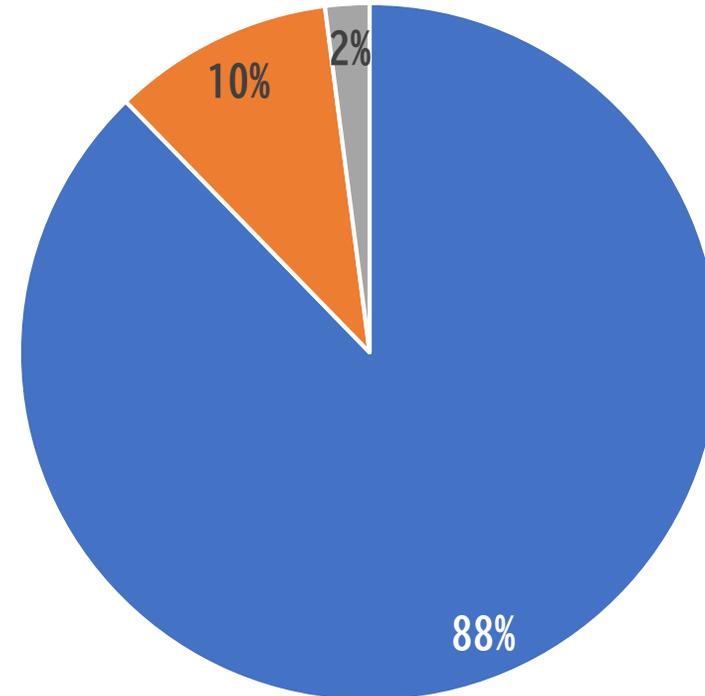
各種加算の取得状況について

福祉専門職員配置等加算の取得状況 n=49



- 福祉専門職員配置等加算 I
- 福祉専門職員配置等加算 II
- 福祉専門職員配置等加算 III
- 福祉専門職員配置等加算 を取得していない
- 無回答

就労支援関係研修修了加算の取得状況 n=49

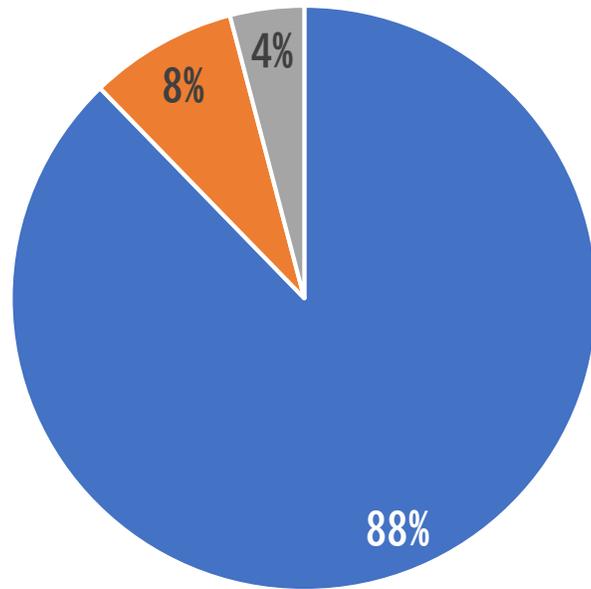


- あり
- なし
- 無回答

処遇改善加算の取得状況について（1）

2023年度

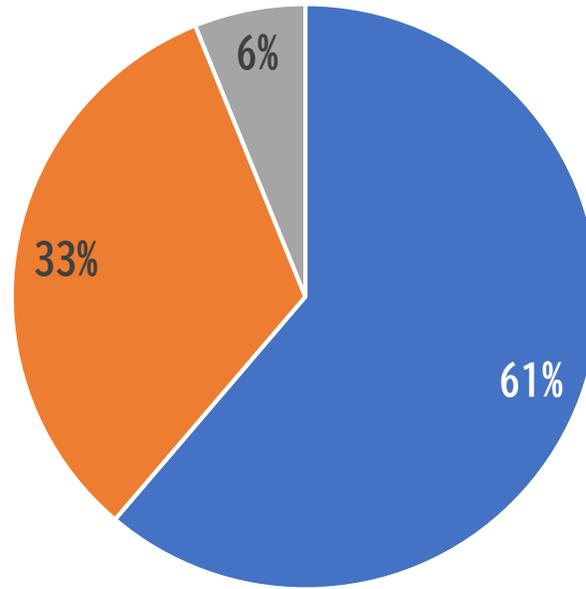
福祉・介護職員処遇改善加算
の取得状況 n=49



■あり ■なし ■無回答

2023年度

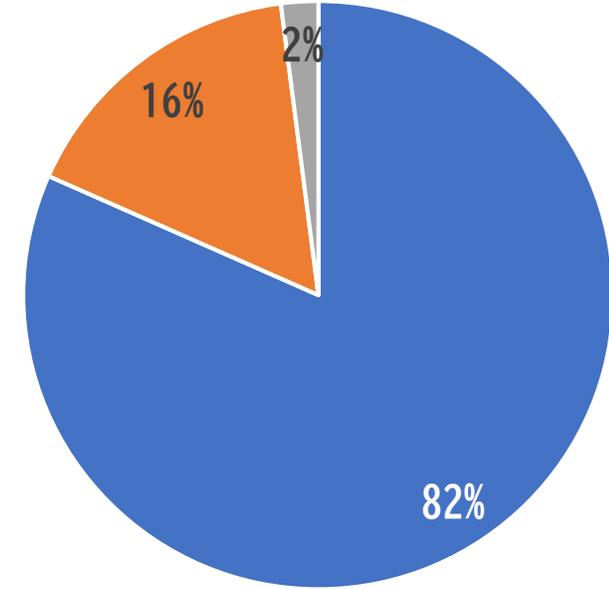
福祉・介護職員特定処遇改善
加算の取得状況 n=49



■あり ■なし ■無回答

2023年度

ベースアップ等支援加算の取
得状況 n=49

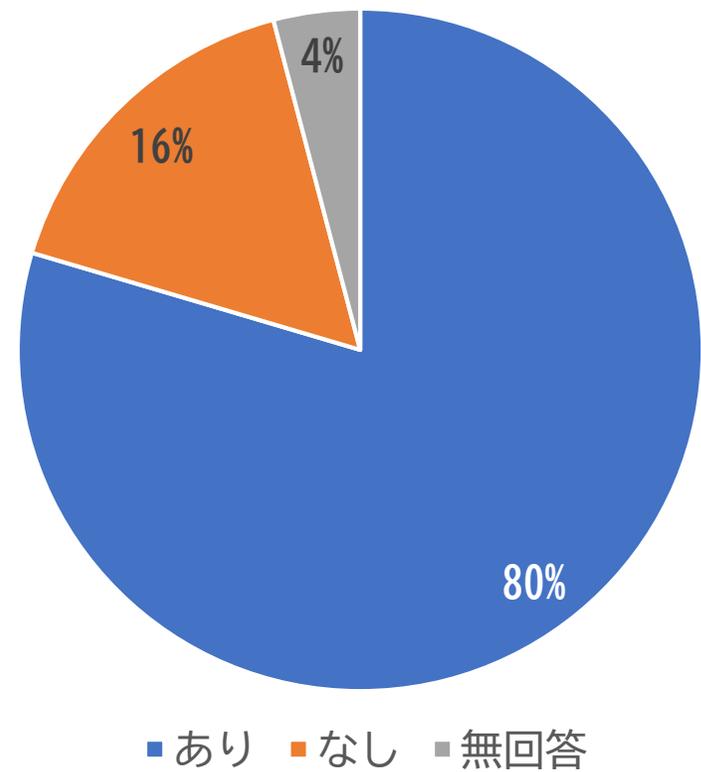


■あり ■なし ■無回答

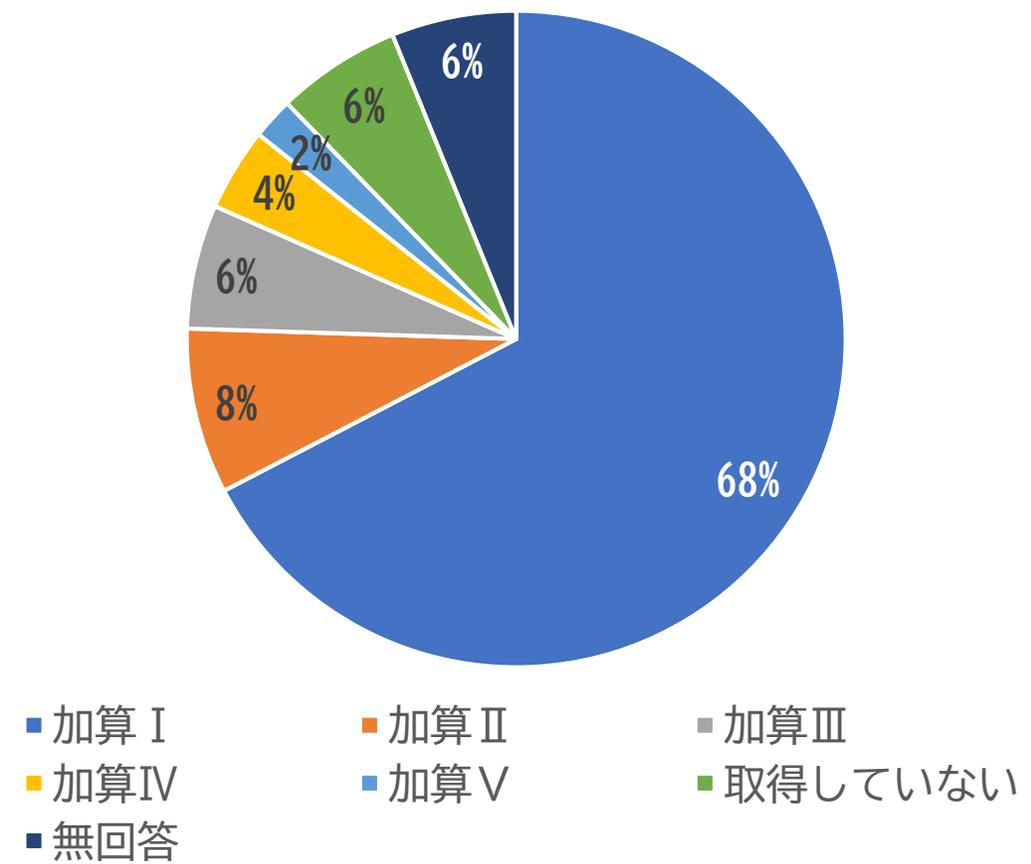
処遇改善加算の取得状況について (2)



2023年2月から5月までの福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の取得状況 n=49

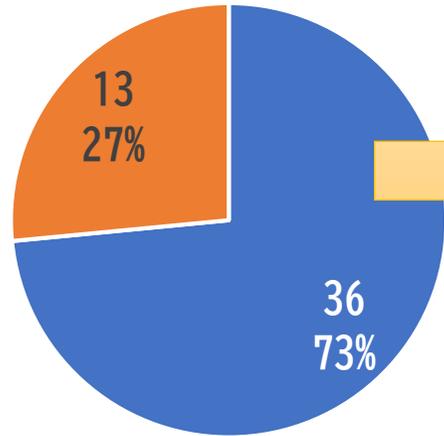


2024年6月からスタートした福祉・介護職員処遇改善加算の取得状況 n=49



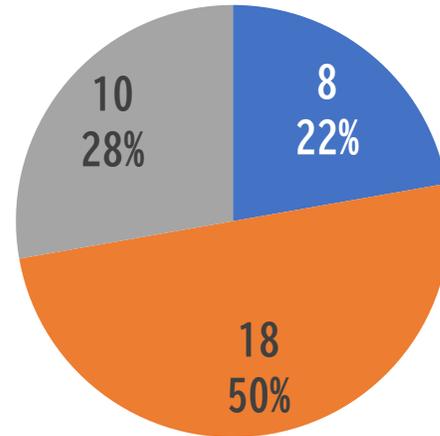
就労アセスメント（直Bアセス）について

2023年度就労アセスメントの有無 n=49



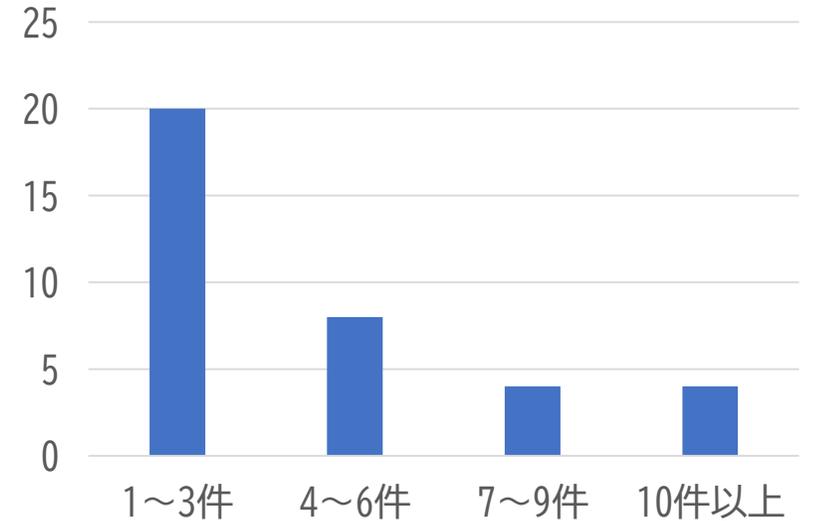
■ 受け入れた ■ 受け入れなかった

平均的なアセスメント期間 n=36



■ 3日以内 ■ 4~5日 ■ 6日以上

年間受入件数 n=36

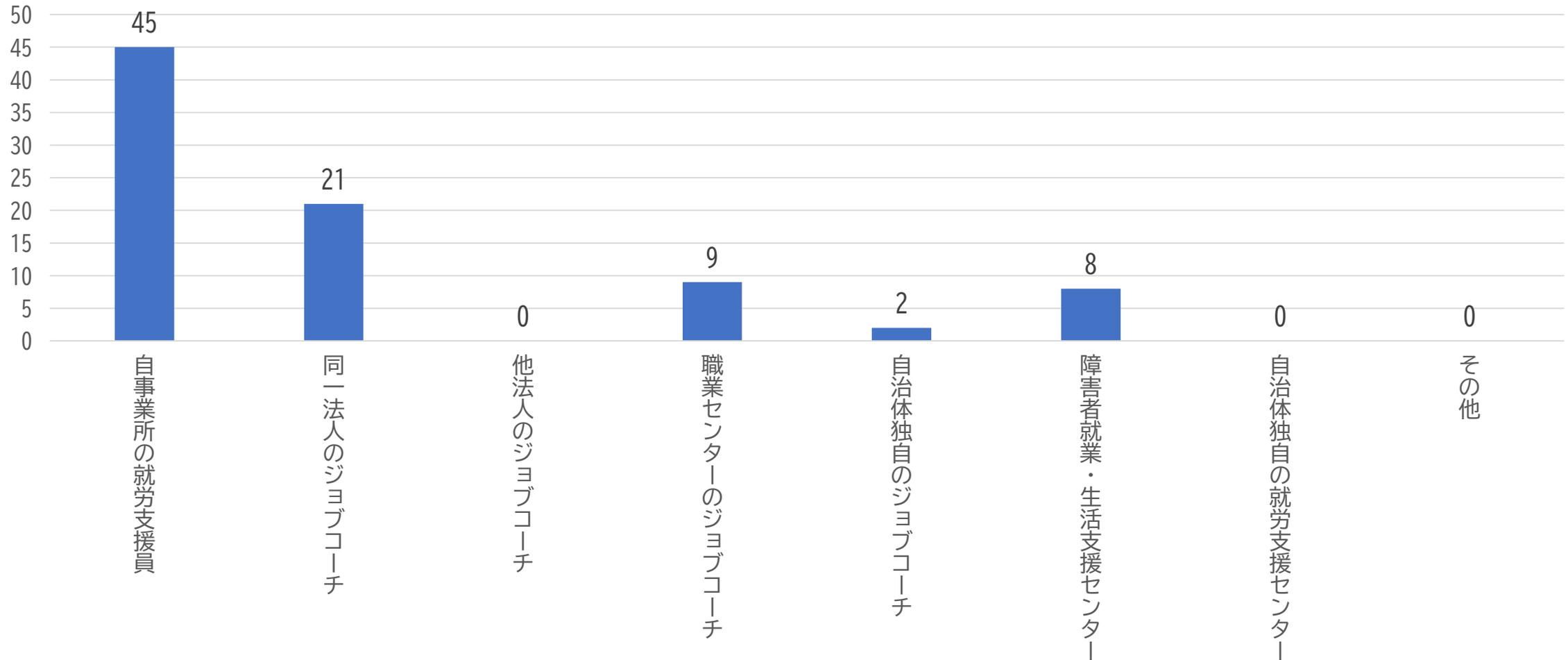


《就労アセスメントを受け入れなかった理由》自由記載 n=12

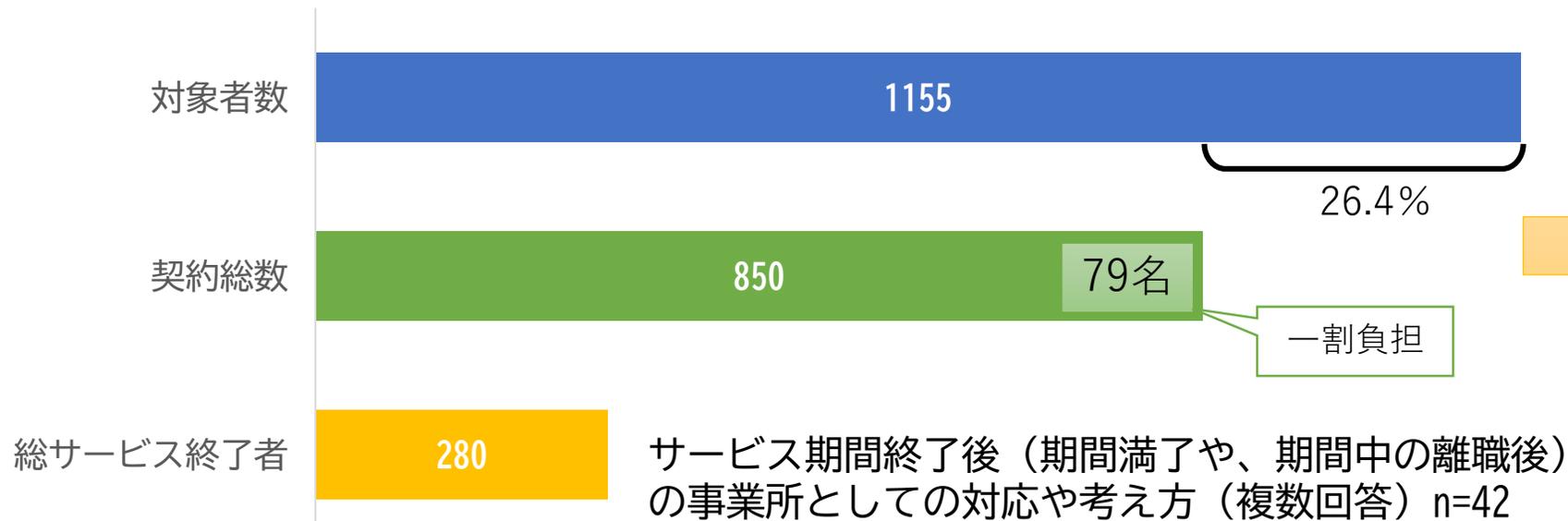
- 依頼・希望がなかった (11)
- 作業のための訓練を受け、評価を受けた方をB型で受け入れているため (1)

就労後のフォローアップについて

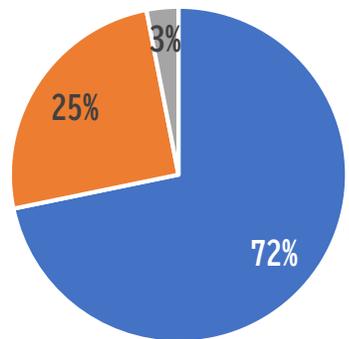
就労後6か月間に主にフォローアップを行う支援機関（複数回答）



就労定着支援事業について



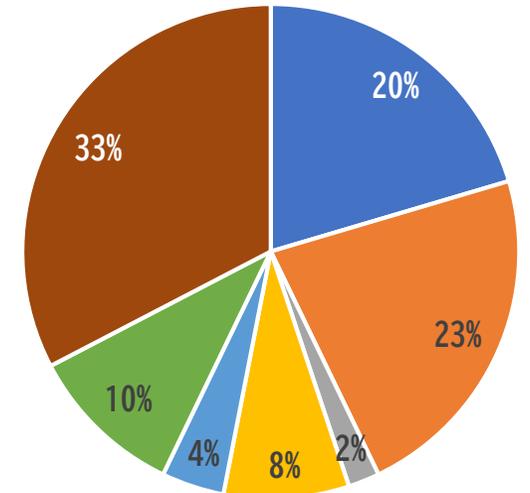
サービス終了の理由



■ 期間満了 ■ 離職 ■ その他

- 主に自事業所で支援継続 (13)
- 主に他の就労支援機関に引継ぎ (15)
- 他の就労支援機関と連携し、必要に応じて対応 (5)
- 就労者向けプログラムやイベント等で状況把握など (4)
- 離職後、希望があれば再利用受け入れ (5)
- 会社のサポートを優先
- 企業都合による急な離職について、制度上「離職」と認められない再就職までの期間はもう少し長く考えてほしい。
- 支給決定がないと支援できないことでタイムリーな支援が行えないように感じる。
- 他機関への引き継ぎをする際に、のりしろをどのように埋めていくか。場合によっては3ヶ月では不十分な事例もある。

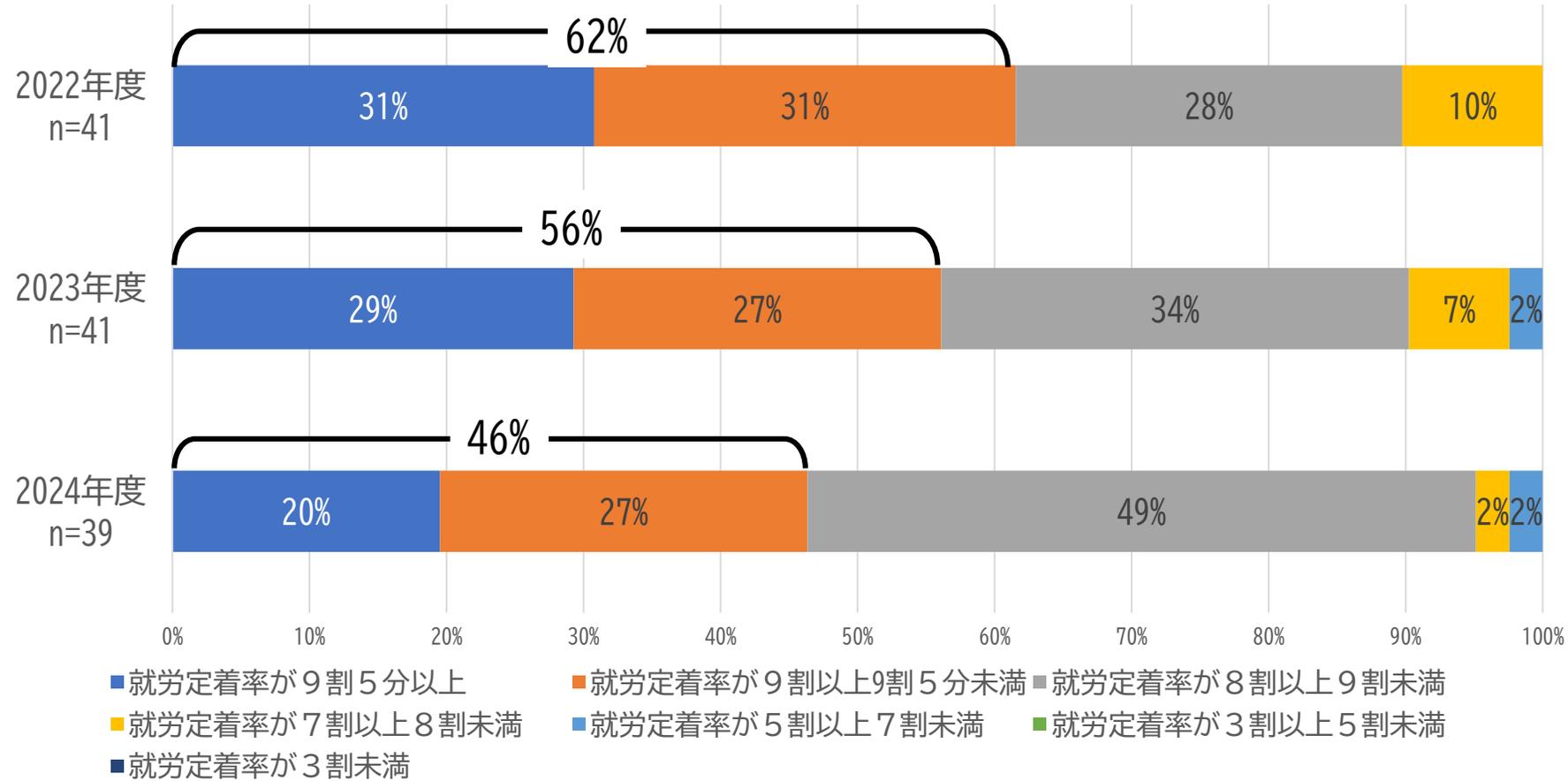
契約に至らない主な理由 n=49



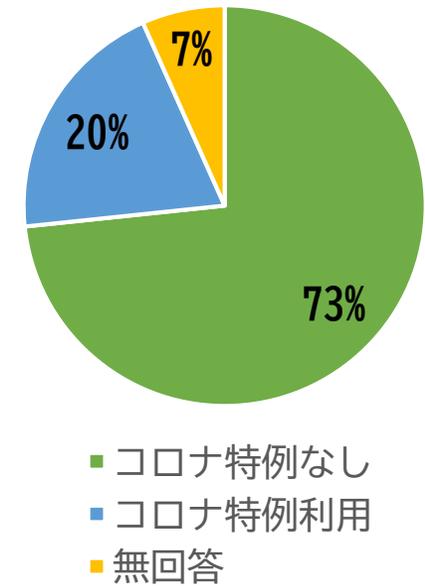
- サービスの必要性がない
- 利用者の拒否
- 利用者の事務手続きの問題
- 一割負担の影響
- 定着支援事業をしていない
- その他
- 無回答

就労定着支援事業の基本報酬区分

各年度の基本報酬区分の割合



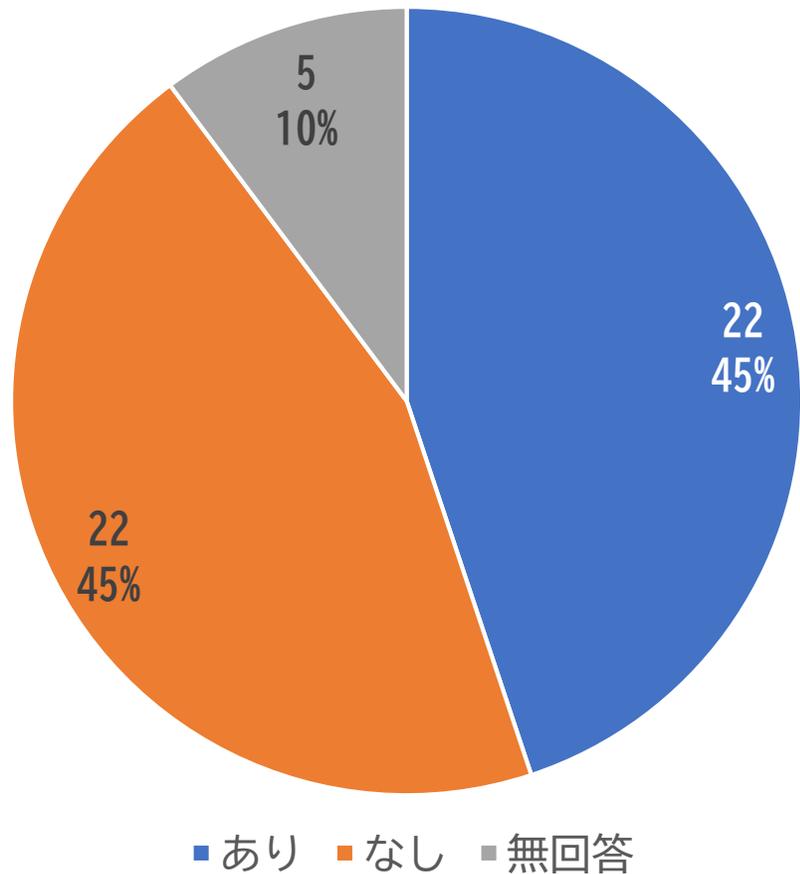
コロナ特例適用の割合
今年度、2023年度算定時
n=45



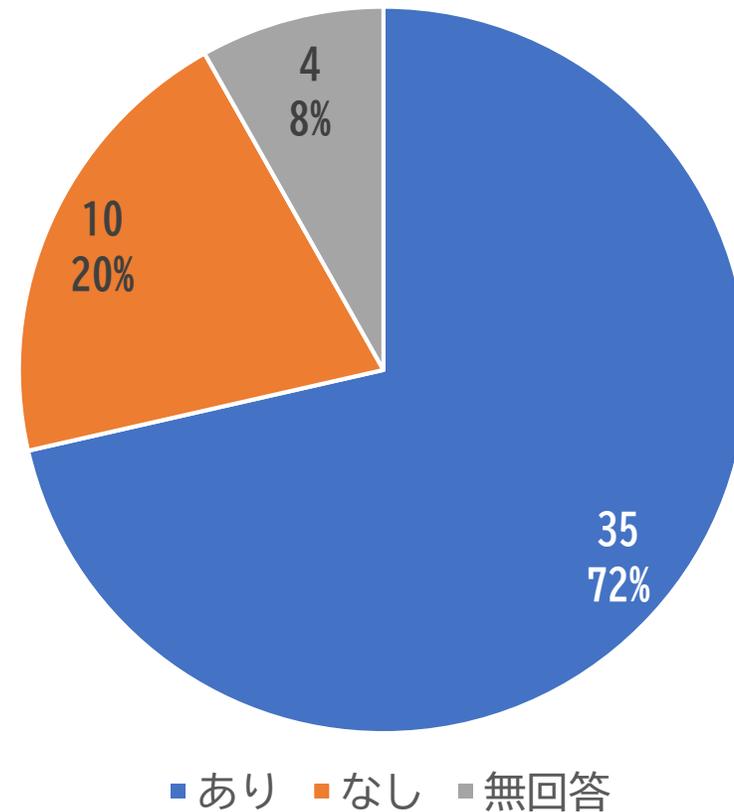
※事業未実施、NAを除く

就労定着の加算取得状況

就労定着実績体制加算の取得状況 n=49

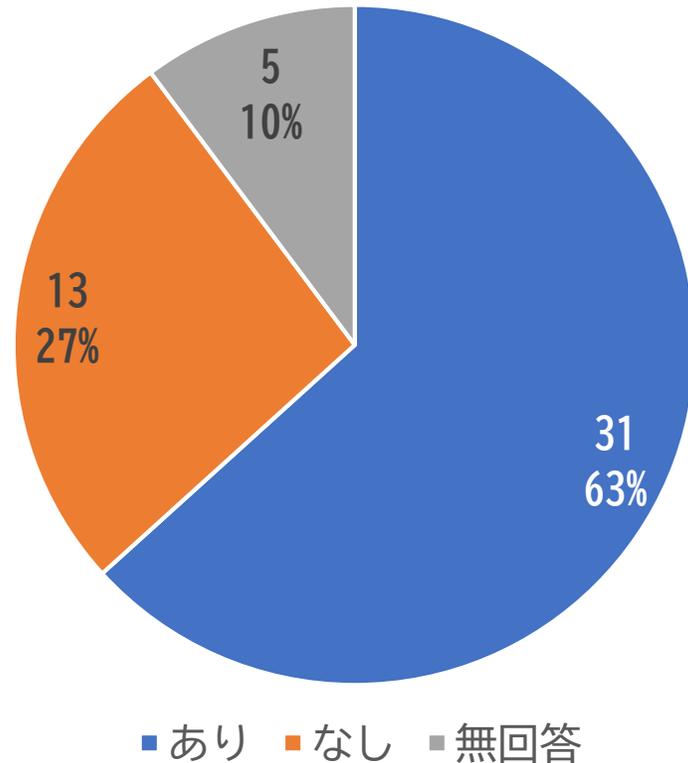


職場適応援助者養成研修修了者配置体制加算の取得状況 n=49



定着支援連携促進加算の取得について

2023年度定着支援連携促進加算の取得
状況 n=49



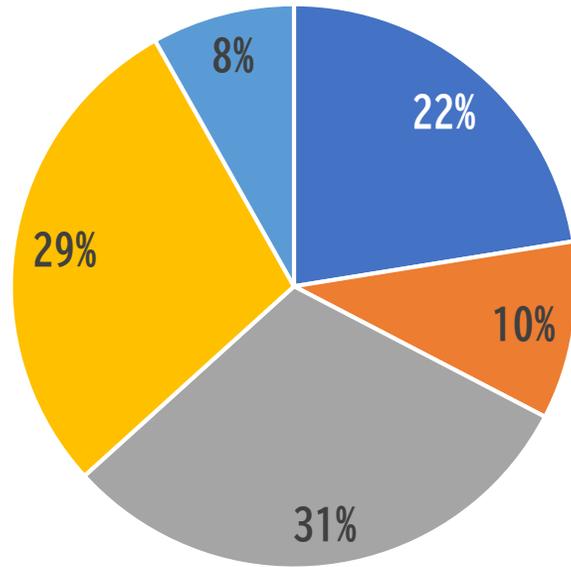
《取得していない、または取得回数が少ない理由》
自由記載（抜粋） n=13

- 関係機関との連携が難しい（6）
- サビ管の出席が難しい（4）
- 該当するケースがない（2）
- 自法人実施事業の障害者就業・生活支援センターと連携支援を進めているため

地域連携会議実施加算の取得について

NEW

地域連携会議実施加算の取得状況 n=49



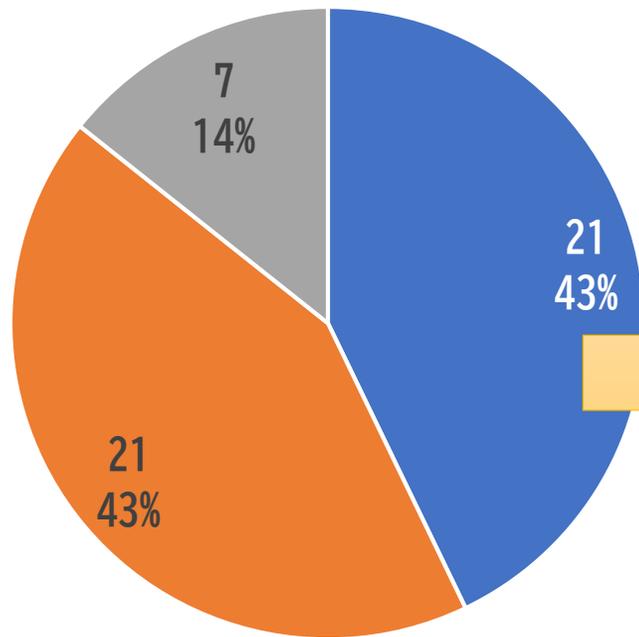
- 地域連携会議実施加算 I (サビ管必須) のみを取得している
- 地域連携会議実施加算 II (サビ管不在も可) のみを取得している
- 上記 (I と II) 両方を取得している
- 取得していない
- 無回答

《取得していない、または取得回数が少ない理由》
自由記載 (抜粋) n=13

- 会議の開催が少ない (4)
- サビ管の出席が難しい (3)
- 該当するケースがない (3)
- 事務負担が大きいため (2)
- 関係機関との連携が難しい

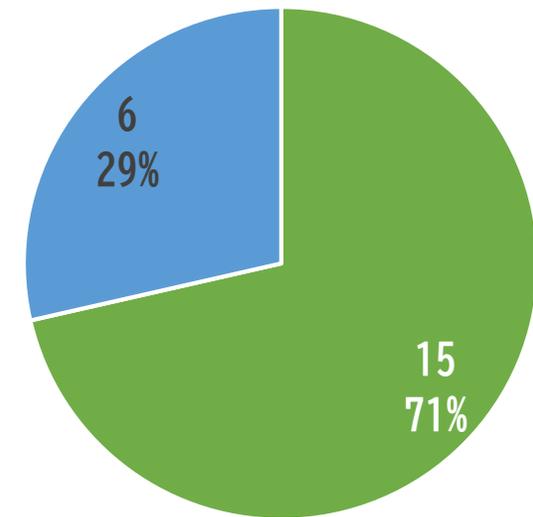
他事業所からの定着支援利用受け入れについて

事業所の方針 n=49



- 地域のニーズに応じて、他事業所等からの就労者も対象としている
- 自事業所からの一般就労に限定している
- 無回答

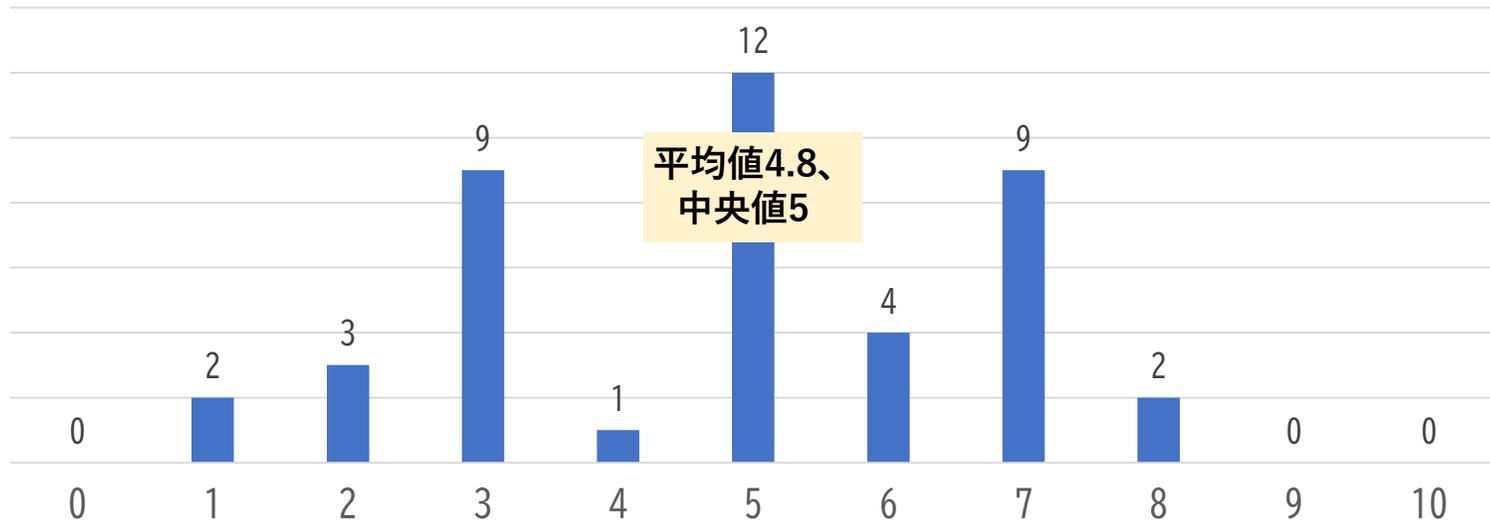
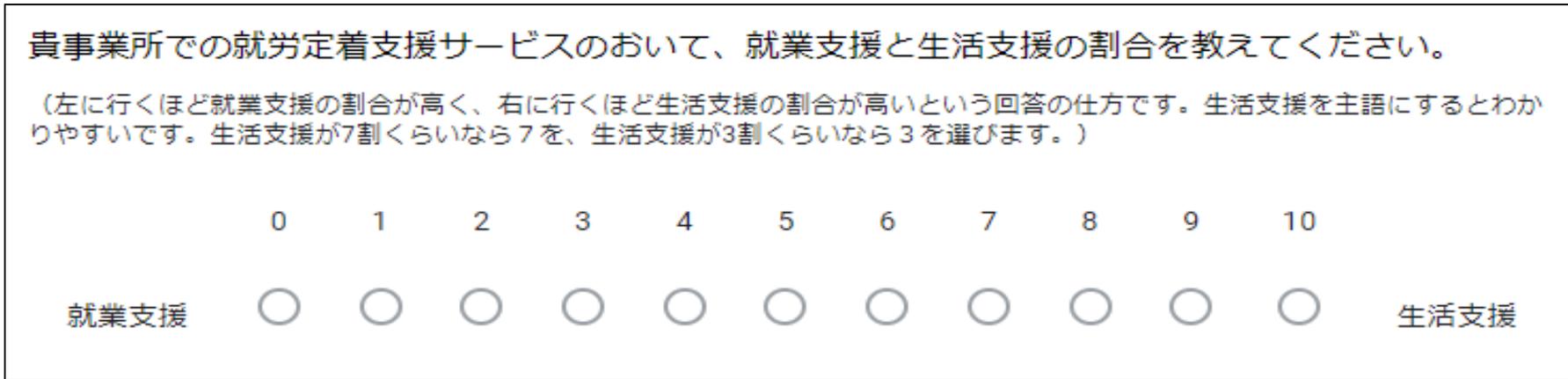
受け入れ実績 n=21



■ ある ■ ない

就労定着支援の支援内容など

就業支援と生活支援の割合 n=49



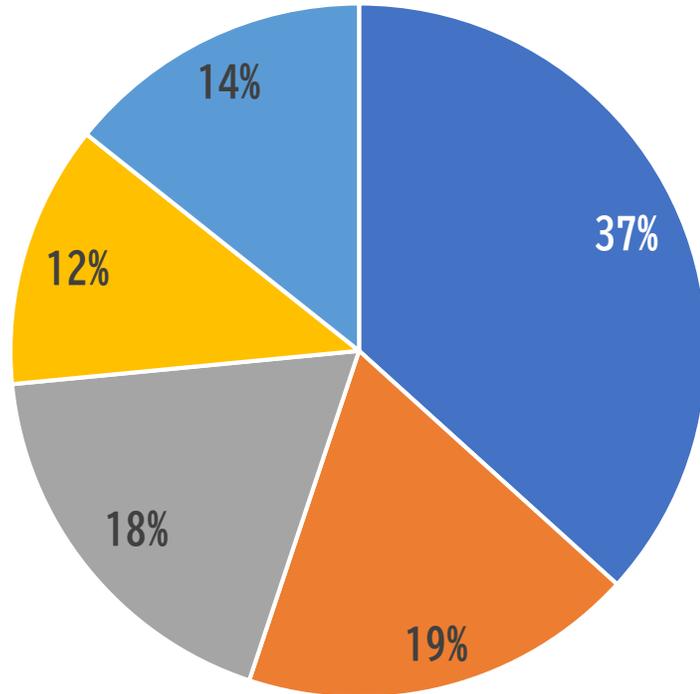
月当たりの支援回数 n=49

	最大	最小	平均
多い人	15	1	3.5
少ない人	2	1	1
平均回数	5	1	1.5

※少ない人の回答のうち0回を除く

定着支援における支援のフェイドアウト

定着支援事業期間中の支援のフェイドアウト n=49



- 3年間のサービス提供期間の中で、計画的にフェイドアウトしている
- フェイドアウトを目指しているが、結果的にフェイドアウトはできていない
- 計画的なフェイドアウトは行っていない
- その他
- 無回答

《その他の回答》
自由記載（抜粋） n=6

- 3年間に月1回は必ず面談。終了2～3か月前に他機関との面談に同行し、期間終了後引き継いでいる。
- 3年後も長期的に連絡できるフォロー体制
- まだ事業開始から3年経過していない。
- 企業への訪問支援は計画的にフェイドアウトしているが、本人への支援は事業所によるイベント等の参加や相談支援など継続している。
- 対象者によって異なる
- 支援回数は運営上1回以上提供しているが、企業支援についてはフェイドアウトしている。ナチュラルサポートの形成や支援体制の構築を企業支援では意識している。

就労定着支援サービスの内容について

主な就業支援の内容（自由記載） n=40

- 就業状況確認 (17)
- 就業環境等の調整 (8)
- 人間関係への助言 (8)
- 個別面談 (7)
- 業務の調整や変更 (5)
- 企業支援 (5)
- 障害特性の理解促進 (4)
- 指導員支援
- 有休のとり方のアドバイス、相談の仕方など
- 転職支援
- 体調管理

主な生活支援の内容（自由記載） n=40

- 生活リズム・体調管理 (17)
- 金銭管理 (13)
- 家族関係・家族との連絡調整 (12)
- 通院同行・医療連携 (9)
- 自立・GH利用支援 (9)
- 余暇支援 (9)
- 対人関係・コミュニケーション (7)
- 関係機関との連携 (7)
- 行政手続きサポート (4)
- 主治医に伝える内容の整理
- 食事や身だしなみ
- 当事者間の意見交換会等
- 老老介護問題

就労定着支援サービスで行うべき支援の内容（具体的な支援内容・サービスの質・他機関連携の難しさ等）についての課題や問題点（自由記載）

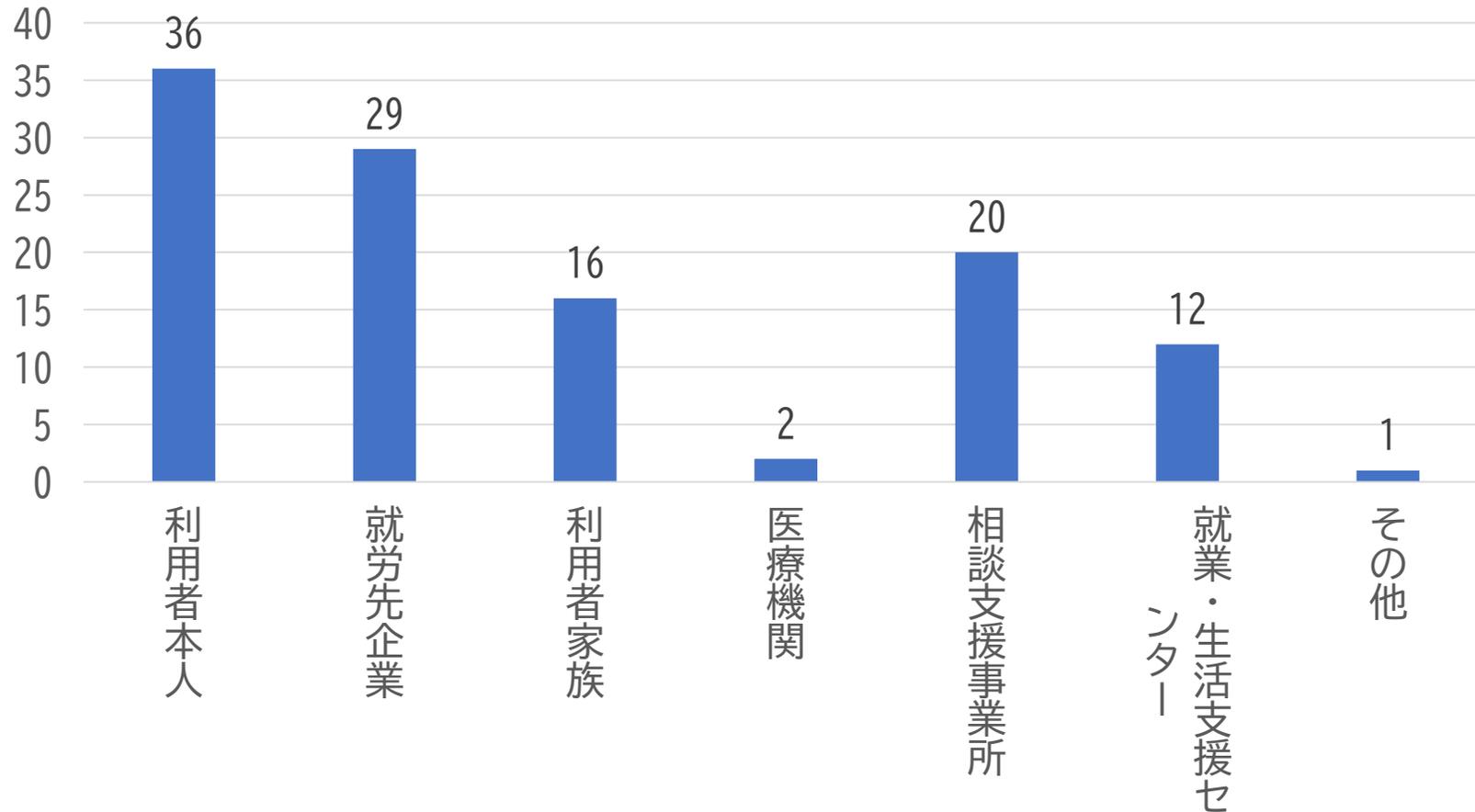
n=30

- ナカポツ等への事業終了後の移管や福祉機関との連携の難しさ (5)
- 企業との関係性 (4)
- フェードアウトの難しさ (4)
- 3年間の支援期間に柔軟性が欲しい (3)
- 介入の程度 (3)
- 人材の確保、職員の質の維持・向上に課題 (2)
- 毎日会うわけではないことによる問題 (2)
- スタッフが就労移行支援事業と兼務しているため、所内業務との調整が負担
- 支援員が単独でアウトリーチの支援を行うため、サビ管の目が行き届かず支援が不十分だったケースがある
- 現場の従業員が障害者の受け入れに難色を示す
- 支援の範囲が広いことと、巡回期間が空くことにより企業の変更情報が事後報告になることがある
- 他機関連携時に重点項目の差により企業に求める度合いが高くなってしまいそうなことがある
- 自己負担がある方への支援
- 就業支援の役割、連携を構築したい
- 定期的に顔を合わせる機会を作る
- 報酬上必要があっても1か月単位のため算定できない
- 本人の意欲を高める支援、会社の指導体制を構築する支援

支援レポートを共有している関係機関



支援レポートを共有している関係機関（複数回答）



その他の回答
場合によっては企業担当者

支援レポートについての課題点や要望点

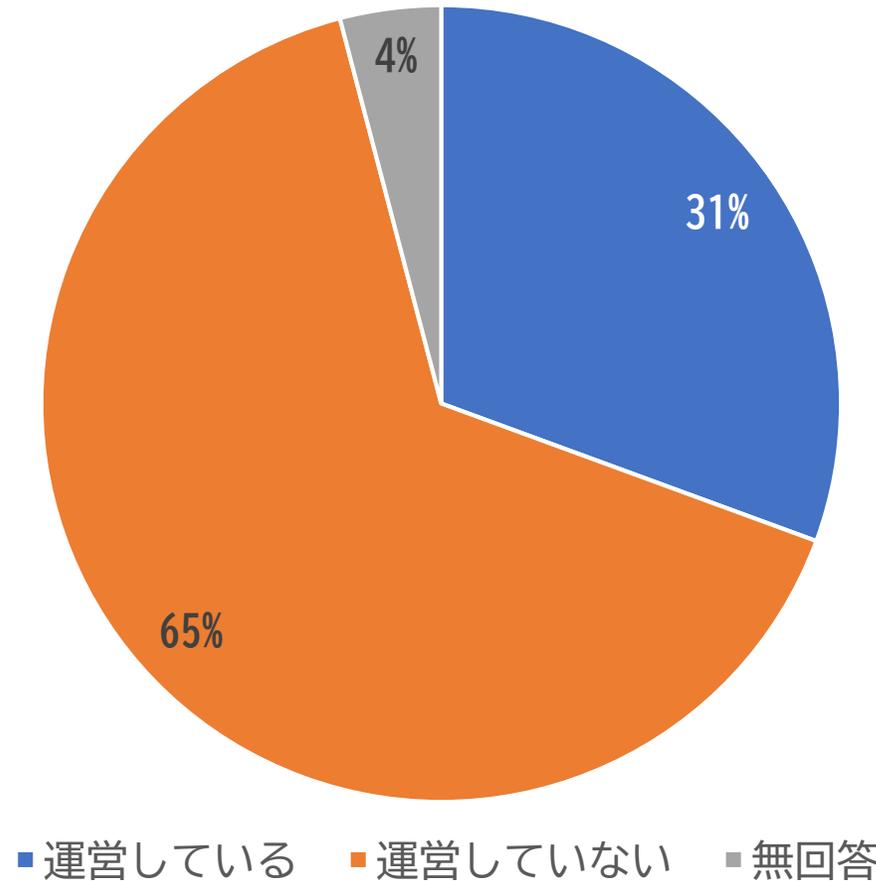
主な意見と改善点や要望（自由記載） n=24

【主な意見】

- 負担が大きい (6)
- 内容を共有されたくない場合がある (6)
- 頻度を減らした方がよい (5)
- 必要性がわからない (4)
- 紙ベースの運用は労力がかかる (2)
- 企業等の関係機関への情報提供は、本人と相談の上で実施している (2)
- 記載内容を具体的にし、より多くの関係者と共有すること
- 記録として作成しているが、3年のみにとどまっている
- 支援レポートのモデル様式をもう少し簡素化してもよいのでは。また企業との共有は様式にこだわらなくてもよいと思う。
- 支援レポートの確認ではなく、事業内容で請求できるようにしてほしい。

障害者就業・生活支援センターの運営

同一法人内での障害者就業・生活支援センターの運営
状況 n=49



就労選択支援事業

NEW

具体的に知りたい情報や、事業開始にあたっての課題感、不安に感じていること等（自由記載）
n=37

【主な意見】

- アセスメントの内容・実施 (8)
- ニーズ (7)
- 他機関との連携 (7)
- 現在の就労アセスメントとの違い (5)
- 人員配置 (4)
- 金額・報酬 (4)
- 周知 (4)
- すべてが不明 (3)
- 具体的な情報提供 (3)
- 特別支援学校 (3)
- 評価者の育成 (3)
- 受給者証・サービス等利用計画など (2)
- 行政等による調整 (2)
- 過疎地での実施
- 都市部での実施におけるスキーム
- どういった事業所が指定を受けるのか
- 現利用者に対するサービスの質を落とさずに両輪で出来るものなのか
- インテーク部分での生活比重や現在の本人の満足度が高くなると就業と生活のバランスを考えた上で就職よりも今現在の収入に着目して決定されて行くと思われる点
- 法人内での囲い込み
- 選択支援実施事業の指定に関しては指定先の選定に関するノウハウについてしっかりと国から通達して欲しい
- 報酬算定の対象となる支援の例示
- 特になし (1)

障害福祉施策や障害者雇用施策、地域課題（自由記載）

【移行支援事業】

➤ 制度改正や柔軟な運用を希望する (6)

- アルバイトをしている人も就労移行を利用できるようにしてもらいたい
- 発達障害を持つ大学4年生が就労移行を利用する条件の一つ「地域における就労支援期間等による就職支援の実施が見込めない場合」の緩和
- 受給要件の見直し、あるいは施設外就労等の手厚い支援による助成金制度
- 訓練中も収入の保証がある仕組みを整えてほしい
- 一般就労移行から6か月の継続的支援を強化する取組
- 報酬を日額払いではなく、定員に対する報酬に変更できないか

➤ 利用者確保が難しく、運営が不安定 (5)

- 就職者が出れば出るほど経営が苦しくなる
- ここ2年で大手の就労移行事業所が3件開設されました。

➤ その他の回答 (2)

- 大学生の利用について、自治体によって見解の違いがある
- 50代・60代の職域拡大に向けた取り組みを検討していく必要がある

【定着支援事業】

➤ 制度改正や柔軟な運用を希望する (5)

- 就労移行支援から就職後6か月の定着支援をサービス提供（加算対象）にしてはどうか
- 欠勤しなくても手続きができるようになると本人の負担が軽減できる
- 相談員との面談については柔軟な対応を検討頂きたい
- 途中で手帳更新が出来なくても法定雇用率にはカウントすると明記していただきたい
- 治療が終了しても必要に応じて期間満了まで定着支援ができるようにしていただきたい

➤ その他の回答 (4)

- キャリアアップのための転職の他、利用者の死亡、転居、就職先の倒産など事業所の支援や努力でどうしようもない事情での離職でも離職数にカウントされるのは疑問を感じる
- ジョブコーチの資格化による事業所側のメリット
- 地方の実情
- 就労定着という言葉がまだまだ世の中に浸透していない

障害福祉施策や障害者雇用施策、地域課題（自由記載）

【全般】

➤ 制度改正や柔軟な運用を希望する (6)

- 就職後に受けられる支援の必要性を感じている
- 過去の利用者のために動くことについて何か支援があるとよい
- 支援が必要なケースにおいて利用できる障害福祉サービスの創設を希望する
- 直Bができないという制度
- 重大な法令違反等の事業所の「撤退」ルールを定める必要性を感じます
- 利用者の負担額を、行政から利用者へ直接請求していただきたい、もしくは利用者へ助成していただきたい。就職後の半年間の利用を考えていただきたい。

➤ ナカポツ等だけでは不足 (3)

- ナカポツが地域の就労専門機関として十分に役割を果たしていない。就労支援事業所で意欲があるところが別途横のつながりを作る活動を進めている。
- 長期的な定着支援が出来る制度が必要

➤ その他の回答

- 当事者が希望する障害者就労にあった求人が少ない
- 広告のルールが曖昧、規制が無いため大げさな広告がある
- 相談支援体制が整っていないので就労以外の課題についても一緒に取り組まなければならない
- 地域によって、就労移行や定着支援が足りていない場所や、支援の質に差があると思います

協議会への意見や要望（自由記載）

【協議会への意見や要望】

➤ 研修・人材育成(4)

- 以前のようにzoomによる研修参加や動画による視聴ができるよう検討してほしい。
- Zoom等でも構わないので、新人研修を主催して頂きたい
- 就労支援関係の研修や、勉強会などがあれば嬉しいです。
- オンライン等でのハイブリッド開催

➤ 活動内容への関心(3)

- 就労移行在り方セミナーはぜひ参加したいです

➤ 求める活動内容(3)

- 就労選択支援に関する情報
- 地域別セミナーを開催していただき、他地域の取り組みや事例などを聞いてみたいです。
- 今後、地域ごとでの事業所情報交換会（就労支援Cafeなど）があると参加したいです。

➤ 制度改善への要望(1)

- 手帳がなく、長年引きこもりの方達が社会に出られるような仕組みが必要